

世田谷区立喜多見中学校 令和8年度 第1学年 学年経営計画

学校スローガン 「安心と挑戦」～楽しいの、その先へ～

学 年 目 標

『応援される学年』

※目標達成のための重点ポイント

- ◇相手の立場を尊重し、誰とでも協力し合う
- ◇自分の力を伸ばし、みんなの役に立とうとする
- ◇話をよく聴き、理解して行動する
- ◇気持ちのよい「あいさつ」を心がける
- ◇5つの大切を心がける
 - ①「時間」を大切にする
 - ②「場」を大切にする
 - ③「物」を大切にする
 - ④「人」を大切にする
 - ⑤「言葉」を大切にする

目標値（学校関係者評価 肯定率）

◎自分には良いところがある

80%

◎先生は相談しやすい

90%

◎学校生活は楽しい

90%

◎タブレットやSNSの使用上のマナーやルールを守っている。

90%

※具体的な目標と取組み内容

項目	目 標	目標達成のための具体的取組み
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律を確立する ・学習意欲を高める ・学習習慣を身につけさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律を確立し、徹底するために、学習課題や目標をしっかりと示すとともに、チャイム前着席、あいさつ、忘れ物、提出物、授業態度など細かく声かけをする。 ・授業への姿勢や発言を大切にし、共有するなどして学習意欲を高めるとともに、達成感や充実感を高める。 ・毎日の授業や家庭学習の重要性を理解させ、習慣づけるよう指導する。また、提出期限を守るよう徹底する。
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いを認め合い尊重し、協力できる関係をつくる ・いじめやからかいを許さない雰囲気をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の学校生活で、自分の良さや他者の良さを認め合い、協力できる態度を育てる。 ・生徒一人ひとりに目を向け、日々の言動を細かく見守る。 ・道徳の授業やきたみ人権デーなどを通して、いろいろな場面や状況から他者理解を深め、実際の学校生活の場面で活かしていけるように指導する。

キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の良さを知る ・将来を見据えたキャリア教育 ・自己実現達成への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートなどの振り返りや総合的な学習の時間を通して、自分に向き合い、課題を見つけ目標を見出し、取り組みを振り返らせる。 ・自己理解を深める活動、職業調べなどの活動を通じて、将来への具体的な展望をもたせる。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識を高める ・対話を重視する。 ・学年全体で共通した丁寧な指導を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のきまりの重要性を考え、理解させる。 ・日ごろから生徒との対話を密にとり、人となりなどを把握し、問題行動の未然防止を心がける。 ・問題行動等に対しては、共通理解の基、指導を行う。その際に、対象生徒の話を十分に聞き、お互い理解し納得できるような指導を行う。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動・行事へ積極的に取り組む。 ・リーダーシップやキャプテンシーを育成する。 ・集団の強みを理解し、積極的に協力して活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動や行事のねらいを理解し、自らすすんで取り組める雰囲気や学級・学年で作る。 ・班活動や小集団での活動、話し合いの機会をたくさん設けて、意識的にリーダーとして行動する場面を意図的に増やしてしていく。 ・特別活動や行事の活動を通して、集団として成し遂げる達成感を味わい、協力することへの意識を向上させる。
保護者連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学年だよりによる情報発信 ・保護者との密な連携 ・保護者からの協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年だよりを発行し、定期的に学年全体や生徒の様子を保護者に伝える。 ・保護者会や面談等を通して、保護者との信頼関係を築く。 ・小さなことでも連絡することで、保護者からの理解や協力を得られるよう励む。 ・生徒の良さを共有する機会を意図的に増やす。

その他

- ・「親切」・「丁寧」・「迅速」を心がける

世田谷区立喜多見中学校 令和8年度 第2学年 学年経営計画

学校スローガン 「安心と挑戦」～楽しいの、その先へ～

学年目標

「手本になる学年」

- ・後輩の手本・見本となる学年
- ・先輩が自信をもって自分たちが卒業した後の喜多見中学校をまかせられる学年
- ・地域の人に愛される学年
- ・常に客観的に自分のことを見て「どんな行動をとるべきか」考えられる学年

※目標達成のための重点ポイント

- ◇元気で挨拶をする。
- ◇進んで学ぶ。学習習慣を身に付ける。
- ◇常に客観的に自分を見つめて、適切な行動をとる。
- ◇何でも無いような当たり前のことをしっかりと行う。
- ◇仲間を大切にし、協力し合う。
- ◇自分自身を大切にする。
- ◇行事に一生懸命に取り組む。

目標値（学校関係者評価 肯定率）

◎自分には良いところがある

67.5% (R7) ⇒75%

◎先生は相談しやすい

68.7% (R7) ⇒75%

◎学校生活は楽しい

86.7% (R7) ⇒90%

◎タブレットやSNSの使用上のマナーやルールを守っている。

81.9% (R7) ⇒90%

※具体的な目標と取組み内容

項目	目標	目標達成のための具体的取組み
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律の徹底 ・学習意欲の向上 ・学習習慣の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律の徹底・確立をするために、学習も目的・目標をしっかりと提示し、細かいところでも見逃さず声かけを行う。 (チャイム着席・挨拶・忘れ物・取り組む姿勢など) ・授業への良い気付きや発言を大切にし、必要に応じて共有し、自己肯定感や学習意欲を高める。 ・日々の授業や家庭学習の重要性を理解させ、計画的に学習を行えるように指導する。また、提出物の期日厳守を徹底する。
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いを認め合い尊重できる関係の確立 ・いじめを絶対に許さない環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の学校生活で、生徒たちが自分の良さを見つけ、他者を尊重しあえる態度と環境を育てる。 ・生徒一人ひとりに目を向け、その存在や発言を大切にする。 ・生徒一人ひとりの良さを認め、褒め、意欲と自信をもたせる。 ・道徳の授業を通して学んだ様々な価値観の理解を、学校生活の中で活かしていく。

キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の良さ」の理解 ・将来を見据えたキャリア教育 ・自己実現達成への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートなどの振り返りや総合的な学習の時間を通して、自分に向き合わせ、課題や目標を見つけさせる。 ・ソーシャルスキルトレーニングや自分を知る活動、職業調べなどの活動を通じて、将来への具体的な展望をもたせる。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のきまりの徹底 ・コミュニケーションの充実 ・誰に対しても共通した丁寧な指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のきまりの重要性を考え、理解させる。 ・日ごろから生徒とのコミュニケーションを密にとり、人間関係などを把握し、未然防止的な生活指導を行う。 ・問題行動等に対しては、生活指導の共通理解のもと、指導を行う。その際に、対象生徒の話を十分に聞き、生徒自身が納得できるような指導を行う。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動・行事への積極的な取り組み ・全員が、リーダーができる指導 ・一人ひとりが組織に貢献する環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動や行事の目的を理解し、一人ひとりの生徒が積極的に取り組む雰囲気や学年で作る。 ・誰もがリーダーとして行動できるように指導する。そのためにも、グループ活動や話し合いの機会をたくさん設けて、全員で話し合い、一人ひとりが組織に貢献する環境をつくる。 ・特別活動や行事の活動を通して、集団として成し遂げる達成感を味わい、目標を達成しようとする意識の向上を目指す。
保護者連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学年だよりによる情報発信 ・保護者との密な連携 ・保護者との協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年だよりを発行し、定期的に学年の様子を保護者に伝える。 ・保護者会や教育相談等を通して、保護者との信頼関係を築く。 ・保護者の声を大切にし、質問や心配事があればすぐに連絡をもらえるようにする。また、学校の活動に支援・協力をしてもらえる関係をつくる。

その他

- ・生徒の数だけ感じ方考え方があることを忘れず、丁寧に話を聞く姿勢で指導にあたる。
- ・教員間の連携は不可欠。情報共有の徹底。
- ・朝の出席確認や休み時間、給食時間など、廊下に教員がいない時間をなるべく作らない。
- ・生徒同士が互いを尊重し、認め合い、高め合う雰囲気を学年全体で作っていく。

世田谷区立喜多見中学校 令和8年度 第3学年 学年経営計画

学校スローガン 「安心と挑戦」～ 楽しいの、その先へ～

学年目標

『虹色学年』～自分の色（個性）を發揮し、他者の色（個性）を尊重するチーム～（3年間通した目標）
 第3学年「魅せる3年生」：在校生、保護者、教職員を魅了し、卒業を惜しまれるような学年

※目標達成のための重点ポイント

- ◇生徒の良さを教員が理解するために廊下など生徒のそばにつねにいる。
- ◇授業規律を保ち、学習の中で自分の良さや得意を生徒が見つけ、教員が評価し、褒める。
- ◇道徳や学活などで生徒同士が互いの良さを見つけ、評価し、時に真似ることで、互いに高めあう。
- ◇常日頃から他者を尊重する気持ちを伝え、未然防止的な生活指導を行う。

目標値（学校関係者評価 肯定率）

- ◎自分には良いところがある
69% (R7) ⇒ 75%
- ◎先生は相談しやすい
64% (R7) ⇒ 75%
- ◎学校生活は楽しい
88% (R7) ⇒ 95%
- ◎学ぶことが楽しい
58% (R7) ⇒ 75%

※具体的な目標と取組み内容

項目	目標	目標達成のための具体的取組み
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の充実 ・授業規律の確立 ・主体的に学習に取り組む態度の「B」以上を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律の確立を大切にする。他の人の学習権を侵害しない。 ・授業への良い気付きや発言は逃さず拾い、共有し、発言者の自己肯定感を高める。 ・授業の妨害がある場合には、毅然とした態度で対応し、学年全体で指導する。 ・日々の家庭学習の重要性を理解させ、計画的に学習が行えるように指導する。 ・提出物の期日厳守を徹底する。
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼し合える人間関係の確立 ・いじめを絶対に許さない環境をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの良さを見つけ、認め、褒め、意欲と自信をもたせる。 ・友人関係に目を配り、子供同士の繋がりに気をつける。 ・生徒への意見から多様な価値観を引き出し、「いろいろな人がいる」ということを学ばせる。 ・教科書的な道徳の授業にとらわれず、教材を柔軟に解釈し、授業を展開する。 ・本校での人権の話の度に人権について道徳で話をし、「いじり＝いじめ」であることを指導していく。また、月に一度を目安に人権に関する教材を用いて継続的な人権指導を行う。

キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の良さを知る。 ・将来に展望をもち、逆算的に自分の進路を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートなどの振り返り活動を通して、自分と向き合い、自分を深める時間を増やす。 ・進路学習や上級学校への理解を深め、自身の将来について真剣に向き合わせる。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の向上 ・基礎的な生活習慣の確立 ・判断力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のきまりを守る意義を考えさせる。 ・個のわがままで、集団が崩れることを理解させ「きまり」の重要性を理解させる。 ・「悪いことは悪い」と正しいことが言え、それが通る集団を目指す。 ・失敗したときには素直に謝罪できる態度を育成し、失敗は許しても嘘をつくことは認めないよう指導していく。 ・問題行動等に対しては、全員で共通の姿勢で指導にあたる。 ・タブレットの利用に関して、規範意識をもたせ指導していく。また、「学習教材」としてより学習に有用な使用方法を生徒自身が考えられるようにしていく。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が役割をもつ ・生徒の個性や長所を伸ばさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動や行事を通して、リーダーを育成し、生徒が自主的に活動する場を作る。 ・自身の得意な分野においてミニリーダーを設け、多くの生徒がリーダーを経験できるように、機会をつくる。 ・行事や学活などで役割の固定化を防ぎ、なるべく多くの生徒に体験をさせる。
保護者連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との密な連携 ・真摯に対応し、定期的に連絡を取り、「一緒に子どもを支えていく」関係をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年だよりを発行し、定期的に学年の様子を保護者に伝える。 ・保護者会や教育相談等を通して、保護者との信頼関係を築くように努める。 ・保護者の要望に向き合い、原因究明ができるよう傾聴する。 ・保護者の声を大切に、質問や心配事があればすぐに連絡をもらえるようにする。

その他

- ・朝の出席確認や休み時間、給食時間など、廊下に教員がいない時間をなるべく作らない。
- ・「指導」＝「叱る、怒鳴る」ではなく、被害者も加害者もきちんと話を聞き、被害者の思いや加害者の原因究明、その際の保護者連絡、教員間の情報共有を徹底する。
- ・生徒と生徒、教員と教員、生徒と教員、教員と保護者の風通しがよく、相談しやすい環境を目指す。
- ・タブレットの使用をはじめ、「多勢に流される」傾向が強い。一人一人が集団として団結力を発揮しつつ、一人一人が集団の自浄作用をもてるよう、個の意識も高める。

世田谷区立喜多見中学校 令和8年度 E組 学年経営計画

学校スローガン 「安心と挑戦」～ 楽しいの、その先へ～

E組 目標

「発想と挑戦」～ 自立と交流にむけて～
 生活：思いやりをもつ（人間関係の形成）
 交流：ルールを守る（自己理解を深め自立へ）
 学習：他人と比べない（低すぎる目標設定をしない）

目標値（学校関係者評価 肯定率）

◎その他

※目標達成のための重点ポイント

- ◇ 自分の特性を理解し、他者と協力する生徒の育成
 - ・ 生徒理解のための資料の充実と教員間での意見交換を自立活動に反映していく。
- ◇ 情緒を安定させ、社会生活への適応を目指す
 - ・ 環境の整備、生徒の納得感の伴った目標設定の調整
- ◇ 基礎学力・運動能力・コミュニケーション能力の向上

※具体的な目標と取り組み内容

項目	目標	目標達成のための具体的な取り組み
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習規律の確立 ○ 個別最適化した学習 ○ 自由進度学習 ○ 教員間での指導の差をなくす 	<ul style="list-style-type: none"> ● チャイム着席の徹底 ● 見通しを持たせる ● 聴覚優位、視覚優位生徒への配慮 ● 個人の学習スタイルの確立 ● 生徒理解のための資料作成 ● 自閉症スペクトラム障害の説明資料
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分自身の特性を理解する ○ 他者を認め尊重し、協力する姿勢を付ける ○ 互いの個性を認め合う関係の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分のよさ・互いのよさを見つけ、認め合える心と態度を育てる ● するべきことを自ら考え、行動する習慣を付ける ● 生徒の良い行動を見つけ、褒め、意欲と自信をもたせる

キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己理解を深める ○ 将来を見据えた自己実現への取り組み ○ 積極的な情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各学年において社会への視野を広げるとともに社会性を身に付ける。 ● 自分の現状に対する理解を深め、さらに向上するための課題を自覚する ● キャリアハスポートの実施・活用
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい生活習慣の実践 ○ 自分の特性との付き合い方 ○ 感情のコントロール方法を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食事・睡眠・運動の重要性を理解させ、正しい生活習慣を確立させる ● 授業や日常生活の様々な場面で、個性やよい面を互いに認め合い、自分に自信をもって力を発揮できる集団になる ● 自立活動では、SST（ソーシャルスキルトレーニング）などの教材を使って場面ごとにどんな行動をとった方がよいのか学んでいく
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行事での交流活動 ○ 協力的・自主的活動 ○ 生徒の個性や長所を伸ばす 	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人だけでなく E 組という学年を超えた集団で作り上げる喜びや充実感を高める ● 交流を通して同学年の横の繋がりを知る ● E 組内からも実行委員を出す ● 行事や学活などで、なるべく多くの生徒に体験をさせる ● 通級の生徒が交流しにくる企画・立案
保護者連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者とのこまめな連携 ○ 互いに協力し、子どもたちを良い方向に導いていく関係づくり ○ SC や生育・主治医など医療機関（学校内外）との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ● E 組日より「あすなる」の定期的な発行 ● 日々の連絡や連絡帳を通して、保護者との信頼関係を築く ● 困ったこと、心配なことをすぐに連絡してもらえ、また、学校の活動に支援・協力をしてもらえる関係をつくる

その他

- 子どもたちが取り組みやすいような枠や選択肢を設定する。その中で自ら選択・創意工夫し精一杯取り組めるような環境調整も随時行っていく。
- また、提示した枠や選択肢からはみ出ることがあっても話し合った上出来ることから取り組んでいく生徒を育成する。